

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービスノーサイド西堤		2026年4月17日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		常に物の配置を意識しています。	安全確保に努め、活動を広げていくためにも配置等は今後も検討していきます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			エレベーターやトイレ、お風呂の手すり等バリアフリーに配慮しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	3		必要時には個別支援が行えるよう、空きスペースやパーテーション等を活用し、環境整備に努めます。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	3	ミーティングで目標等共有されています。	今後も定期的に職員会議を開催し、支援の振り返りと改善を継続的に実施してまいります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2		面談等を通じてご意見を伺い、支援の内容の向上に反映してまいります。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		引き続き、職員からの意見を共有できる機会を設け、業務改善につなげてまいります。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		第三者評価は行っておりません。外部評価や業務改善への取り組みがまだ不十分です。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			研修への参加機会を確保し、職員の知識や技術の向上を図ります。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1		ホームページにて公表いたします。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	1		定期的にあセスメントを実施し、その結果を個別支援計画に適切に反映してまいります
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		アセスメント内容を職員間で共有し、支援計画に適切に反映できるよう努めます。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2		標準化されたアセスメントと日々の記録を活用し、支援の質の向上に努めてまいります。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	2		ガイドラインに基づき、支援内容の見直し及び具体化を図ってまいります。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		活動内容については、職員間で相談、共有しながら立案します。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1		今後も活動内容が固定化しないよう、季節行事や新しい活動を取り入れ、支援内容の充実を図ります。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	振り返りを行い、気付いた点や様子など共有を行っています。	引き続き振り返りを行い、気付いた点や課題を職員で共有します。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	毎日記録を行い、出勤していない日の様子も把握することが出来ています。	今後も日々の記録を徹底し、支援の内容の検証および改善に活用してまいります。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			定期的なモニタリングを実施し、必要に応じて個別支援計画の見直しを行ってまいります。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			関係機関との連携を強化し、適切な情報共有が行えるよう体制設備に努めてまいります。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1			
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		イベント等で交流出来るような企画を検討しています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			日々の様子を保護者にお伝えし、共通理解に努めてまいります。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		家族支援として、相談対応や情報提供を行い、安心して利用いただけるよう努めます。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1		契約時には、運営規定や利用料等について丁寧に説明を行っています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6					
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			今後も支援内容を丁寧に説明し、保護者の同意を得たうえで支援計画を作成します。		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			定期的に面談を行っていますので順次お知らせ致します。また送迎時やお迎え時に保護者に寄り添いながら助言等を行い支援につなげています。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6			イベントで保護者、ご兄弟等お会いする場面はあります。交流までの機会は少なく今後交流の場を設けていきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			今後もノーサイド通信やSNS等を活用し、事業所の取り組みや情報発信に努めます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			個人情報については鍵付き書庫に入れていて、十分な配慮行っています。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		各種マニュアルを整備し、定期的に訓練を実施することで、緊急時対応の強化に努めます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1		避難訓練を年に2度実施し、避難所として避難食、発電機等を完備しています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			保護者より詳細な情報を書面にてご記入いただいております。定期的に内容の確認を行い、変更時にはご提出いただくようお願いしております。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			アレルギーのある利用児については個人ファイルやアセスメントシートなどに記載し、情報共有しています。引き続き、全職員への周知を徹底し、最新の注意を払ってまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		毎月1回共有する場を設け、再発防止の検討をしています。	ヒヤリハット事例を職員間で共有し、再発防止について検討を行います。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1		虐待・身体拘束防止を継続していきます。職員の育成についても、共有し周知しています。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			身体拘束に関する方針を明確にし、必要時には保護者へ説明、同意を得たうえで適切に対応します。	